

◆「いまだゆるとほ」
 日本標準時子午線が通り、マダコで有名な兵庫県明石市が7月から9月までの期間限定で展開している移住促進キャンペーンが、「刺激的だ」と周辺自治体に波紋を広げている。

時流 地流

◆明石市では「県内トップクラス」とうたう子どもの医療費補助など住民サービスを他の県内市町と比較した表を掲載した市の広報誌を作製。「住まなもったいなくて、明石」と題したパンフレットを市職員らが近隣市町に出向いて配布したり、神戸市内の大学で「神戸市より明石市が選ばれている理由」というテーマで泉房穂市長自身が講演したり、といった具合だ。

◆「住む」ことに特化した自治体を目指す」と言い切る泉市長。減少が続いていた人口は2013年から増加に転じた。シングルマザーなど子育て弱者への支援を厚くする一方で、企業誘致や商業地開発は隣接する神戸市などに任せる戦略。そ

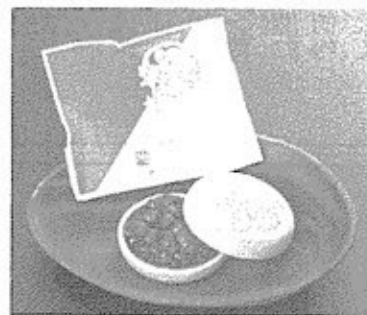
住民サービス競争は消耗戦?

れだけに「自治体間の競争は否定しないが、協力も必要では」（久元嘉造神戸市長）といった声も上がる。

◆人口減少が続く地方ではあらゆる住民サービスを一つの基礎自治体がパッケージで提供できる時代ではなくなった。その中で各自治体は特徴を打ち出すため知恵を絞る。保育所の待機児童数から、小中学校のエアコン設置率といったもので、近隣自治体と競う動きは全国各地でみられる。

◆7月に東京で開催した第39回指定都市市長会議。神戸市の久元市長が発表した東京と地方の財政格差を示した数字が話題を呼んだ。東京23区の貯金にあたる基金残高は、政令指定都市に比べ1人当たりで約4倍、借金にあたる地方債残高は同10分の1以下という圧倒的な差。これは当然、住民サービスの差につながる。

◆この差からも明らかのように、地方での自治体間の住民サービス競争は東京一極集中の是正を目指す地方創生の観点からは外れる。競争が近隣自治体同士の消耗戦に陥ってしまうとすれば本末転倒。今後は相互補完の枠組みを作る議論に発展することが欠かせないだろう。（長谷川岳志）



New Face

葵のご紋、もなかに

【静岡】御菓子司あおい（浜松市、053・435・3336）の和菓子「浜松最中 出世葵」の写真
 徳川家康公が浜松城で天下統一の足がかりを築いたことちなみ、徳川家の家紋（三つ葵）をものなかの皮にかたどった。パッケージも新たにデザインし、味も小豆の風味を引き出すよう現代風に改良して甘さを抑え、すっきりとした味わいにした。今年が家康公没後400年。浜松市がそれを記念して作った「出世土産」にも認定、縁起物として浜松のキャッチフレーズ「出世の街」をアピールする。販売中
 4個入り1箱880円。販売中

海と山の幸をコラボ

【岩手】遠野ふるさと公社（遠野市、0198・62・0888）の「わかめのディップソース」
 三陸・大船渡産の肉厚ワカメと内陸部の遠野産タマネギという海と山の幸を組み合わせた。ほのかな酸味と甘みが生野菜や揚げ物を引き立てる。公社が運営する道の駅に三陸の被災した水産会社が出店した縁で、県産品コーディネーターが発案。東北銀行などの協力で実現した。販売中
 120g入り、800円。

ブドウそっくりの豆

【広島】徳永製菓豆徳本店（福山市、084・973・7222）の「葡萄大豆」
 多様な豆菓子を作る地元のお舗が、北海道産の大豆にフリードライしたブドウの粉末をまぶした。色の濃いブルーベリー色の粉も混ぜ合わせたことで、見た目はまるでブドウの粒そのもの。大豆のさつくりとしたかみ応えに加え、ブドウの特有の酸味と甘さが味わえ、デザート感覚でも楽しめる。
 1パック70g入り432円、10月1日発売



“光”ひろがる。ひびきあう。

☆重要ポイント

情報セキュリティ対策

NTT西日本

- 豊富な実績
- 多彩なプラン
- 地域密着

マイナンバー ⇒ 特定個人情報
 10月からはよいよ
 通知開始!

特定個人情報
 → 厳格な管理が必要
 → 全ての企業で
 対応が求められる!

企業様の規模・環境に応じた多彩なプランで、情報セキュリティ対策をサポートいたします。詳しくはWebで。

NTT西日本 マイナンバー 検索

<http://flets-w.com/solution/mynumber/>